

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報



●次回卓話予定者

ロータリーを高めよ
思いを尽くし 熱意を尽くし

HONOR ROTARY
WITH FAITH AND ENTHUSIASM

ポリオ・プラス月間
会員増強拡大月間

1991.3.1. (金) 第164回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. 国歌斎唱
3. ロータリーソング「手に手つないで」
4. 「四つのテスト」唱和
5. 食事
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 各委員会報告
9. 3月セレモニー
(誕生日祝・結婚記念日祝)
10. 卓話
11. 点鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-02 佐土原町大字下田島9883番地1
TEL 0985-73-0015

会長 佐野 保

副会長 神宮寺 利夫

幹事 鈴木 正敏

会計 浜田 松太郎

会報責任者 垂水 敏雄

第163回例会記録

(平成3. 2. 22)

会長より

佐野保

コスタ国際ロータリー会長から次のような書簡が送られてきました。

「世界で最初のロータリークラブの会合は、今から86年前の1905年2月23日、米国シカゴ市で、ポール・ハリスとその友人3名によって開かれました。この創立記念日を記念して、全世界のロータリアンは特別行事を行うことになっています。貴クラブにおかれても2月23日またはその前後の適当な日に、記念行事を実施されるようお願いいたします。なお、実施結果についてお手数ですがご報告をお願いします。」

当クラブとしては、記念行事に「平和に捧げる願いをこめての默祷」を行いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

※ 全員起立して、心から世界の平和を祈念する默祷を捧げました。

今朝ガバナーから、RI会長及び事務総長署名の「世界平和へのロータリーの誓約」についてのメッセージが送付されました。ガバナー月信第8号の15ページに同メッセージが掲載しておりますのでお読みください。

私が小学生の頃先生から「小さなネジ」という話を聞いたことを覚えています。内容は「ある時計の内部の小さなネジが、自分は人目につかないところで毎日油にまみれて働いている。それにくらべ文字盤や針はいつも人目につくところで、きれいで手入れしてもらって楽しそうにしている、とうらやんでいた。ある時その時計を手入れする人が、分解掃除の際に”その小さなネジ”をうっかり落してしまった。組立ててみたが時計は動かない。やっと落した”小さなネジ”に気付き、それをはめ込むと途端に時計は動き出した。”小さなネジ”は、自分があってこそ時計は動くのだ、自分でなければできない役目を持っているのだ、自分の仕事に誇りを持とうと自覚めた。」というものでした。

地域社会・国・世界すべてに通じる教えであると思います。

幹事報告

鈴木正敏

ガバナー月信第8号(2月15日発行)をお配りしました。

○ 第273地区(宮崎県)ロータリー情報・広報委員会に出席して 垂水敏雄

本県のロータリークラブの情報・広報活動は他の部門に比し不十分と考えていることが、今回のアンケートの結果に、自己反省として表われている。情報・広報委員会の役目は、クラブ会員にロータリーに関する適切な情報を常に伝達し、地域社会にロータリーの目的や活動について正確な情報を提供して理解と認識を深めてもらい、そして、地域住民の要望を察知してクラブの奉仕活動へ反映させることである。従って、その機能を十分に發揮するためには、かなりの充実したスタッフを要することになる。このあたりに問題点があるかと思った。

今度初めて、ジャーナリストを招いてのロータリー情報・広報に関するディスカッションが行われたのであるが、テレビや新聞等をロータリー広報の協力媒体とすることについては、ジャーナリストとロータリアン間に見解の較差が見られた。「ロータリーは奉仕団体であるのなら、社会に奉仕するのは当然のことで、特別にニュースバリューはない。」とさめた(あるいはわれわれの自覚に資する)発言もあった。

○第159回例会(1月25日)記録の正岡会員卓話要旨、「斗峰和尚」は「中峰和尚」が正しい名でした。お詫びして訂正いたします。

第163回例会 2月22日(金)

出席状況

会員数	17名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	13名
ホーム出席率	76.47%
メールアップ者数	0名
欠席者名	齊藤・郡司・猿渡 今村